



土砂災害に真摯に向き合い描きあげました

3月7日、大崎中学校において「令和5年度土砂災害防止に関する絵画」の表彰がおこなわれました。これは、6月1日から30日まで土砂災害防止月間の一環として、県内の小・中学生を対象とし、県が作品を募集したものです。115点の応募があり、中学生の部において同校1年生の^{さねよし}實吉凛さんが県知事賞優秀賞を受賞されました。

實吉さんは「あまり絵を描くことは得意ではないが防災について考えることのできた。賞をもらえて嬉しい」と話してくれました。



自衛隊新入隊者壮行会で入隊者を激励

3月7日(木)、町中央公民館において、大崎町自衛隊家族会主催の「自衛隊新入隊者壮行会」が開催されました。

会では、東町長をはじめ防衛大臣や県知事から激励の言葉やメッセージが贈られました。

自衛隊入隊者2名が出席し、代表して高嶋杏奈さんが答辞を務めました。高嶋さんは「小学生からの夢でした。これから楽しみです」、久森海青さんは「人の助けになりたい。これから頑張っていきたいです」と話してくれました。



マンガで楽しく歴史を学びます

野方荒佐野地区に移住した江戸時代の摂津郡奉行、出原次左衛門を題材とする漫画「マンガふるさとの偉人 不屈の魂～荒佐野を拓いた人たち～」の寄贈式が3月8日(金)、野方小学校において、おこなわれました。これは町教育委員会が、**B&G財団の「ふるさとゆかりの偉人マンガの制作と発行の活用事業」の助成を受けて制作したものです。**マンガは、町内小中学校や町立図書館などに贈られます。寄贈式で徳園教育長からマンガを受け取った5年生の前原靖濃さんは「地域のことをもっと勉強したい」植村芽功さんは「荒佐野を多くの人に知ってほしい」と話してくれました。



大崎中学校が 文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞

令和5年度文部科学大臣優秀教職員・教職員組織の部で大崎中学校が表彰され、3月7日(木)、応接室において伝達式がおこなわれました。同校は、平成26年度から「大崎学」として環境教育に取り組んでいます。令和3年度からは大崎町役場と連携し、中学校の植物とCO₂削減の関係や大崎町リサイクルシステムの調査をおこなっています。令和4年には、地域の養蜂家の協力のもと、養蜂を通したSDGs学習「ミツバチプロジェクト」の実施や大崎町SDGs推進協議会、町内小学校と連携した各教科における学習とSDGsの内容を関連付けた指導計画を作成しました。令和5年8月には、金沢工業大学と企業が開発した「BEYONDSDGs人生ゲーム」を教育現場で活用するための職員研修を実施しました。このような継続した活動が認められ、県内の中学校で唯一の文部科学大臣の表彰となりました。